

■製品安全データシート（MSDS）

洗浄剤（初期なじみ用モリブデングリス用）CLN-GSMOS

2010年4月14日更新

1. 製造元情報	【会 社 名】株式会社 オーデックコーポレーション 【住 所】東京都大田区東馬込2-19-10第7下川ビル 【担当部門】化成品課 【電話番号】03-5718-7425【FAX番号】03-5718-7426 【緊急連絡先】03-5718-7425		
2. 製 品 名	GSMOS専用洗浄剤 製品番号：CLN-GSMOS		
3. 物質の特定	【単一性品、混合物の区別】 混合物 【化学名】 ケイ酸ナトリウム、 界面活性剤、その他 【化学式又は構造式】 $\text{Na}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$	【成 分】 ケイ酸ナトリウム 30% 特殊界面活性剤 7% 純水 63% 【官報公示整理番号（化審法、安衛法）】 記載あり 【CAS-No.】 1344-09-8 【PRTR法】 該当しない	
4. 危険有害性の分類	【分類の名称】 分類基準に該当しない 【危険性】 該当しない	【有害性】 知見なし 【環境影響】 知見なし	
5. 応急処置	【目に入った場合】 直ちに流水中で15分以上水洗し、医師の手当を受けること。 【皮膚に触れた場合】 直ちに石鹼を使用して十分に水洗いすること。 汚染された衣服及び靴を脱ぐこと。 衣服及び靴は洗濯してから再使用すること。 必要ならば医師の手当を受ける。 【吸入した場合】 新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。 【飲み込んだ場合】 誤って飲み込んだ場合、直ちに吐かせて、うがいさせ、医師の手当を受ける。		
6. 火災時の処置	【消火方法】 燃焼性なし		
7. 漏出時の措置	【少量の場合】 ウェス、おが屑等に吸わせて回収する。 【多量の場合】 盛土して流出を防ぎポンプ等で回収する。		
8. 取り扱い及び保管上の注意	【取り扱い】 皮膚に触れないよう、目に入らないよう、 蒸気を吸入しないように注意すること。 必要に応じて保護具を着用すること。 【濃度管理法】 サンプル液10ccを採取し、フェノールフタレイン指示薬でピンク色に 着色し1/10N塩酸にてピンク色が消滅するまで滴定する。 濃度(%)=1/10N塩酸消費cc×ファクター0.62	【保 管】 漏洩の防止 密封して冷暗所に保管する。 酸化剤と同一場所に貯蔵しないこと。 異物混入のないこと。	
9. 暴露防止措置	【管理濃度】 【許容濃度】 日本産業衛生学会勧告 ACGI勧告 【設備対策】	該当せず 該当せず 換気装置	【保護具】 呼吸用保護具 保護メガネ 保護手袋 保護衣 必要ならば防臭マスク 側面シールド付き保護メガネ ゴム手袋
10. 物理／化学的性質	【外 観】 半透明の液体 【比重又は、かさ比重濃度（25℃）】 1.03～1.04 【蒸気圧】 データなし 【水への溶解度（wt.%）】 任意に溶解	【沸点又は範囲（℃）】 【揮発性】 【その他】	データなし なし 強アルカリ性(pH11) BOD:240ppm COD:112ppm
11. 危険性情報	【引火点（PM）】 なし 【燃焼範囲】 なし 【発火点】 なし 【可燃性】 なし 【発火性（自然発火性、水との反応性）】 なし	【酸性性】 【自己反応性、爆発性】 【粉じん爆発性】 【安定性、反応性】 【その他】	なし なし なし 通常の取扱条件において安定 なし
12. 危険性情報（人についての症例、医学的情報を含む）	【皮膚腐食性】 測定データなし 【刺激性（皮膚、目）】 皮膚に付着後、 直ちに水洗いすれば障害は起きない。 目には著しい損傷の恐れがある。 【感作性】 測定データなし 【急性毒性（50%致死量等を含む）】 測定データなし	【亜急性毒性】 【慢性毒性】 【がん原性】 【変異原性（微生物、染色体異常）】 【生殖毒性】 【催奇形性】 【その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）】	測定データなし 測定データなし 測定データなし 測定データなし 測定データなし 測定データなし 測定データなし
13. 環境情報	【分解性】 知見なし 【蓄積性】 知見なし	【魚毒性】 知見なし	
14. 廃棄上の注意	【少量の場合】 水で希釈し、酸（塩酸、酢）で中和して上澄みを放流、沈殿物は乾燥後、不燃物として廃棄してください。 【多量の場合】 廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を依頼する。		
15. 輸送上の注意	車両等によって運搬する場合には、容器の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。酸化剤（特に粉末）との混載は避けること。		
16. 適用法令	1. 化審法および労安法 2. 水質汚濁防止法 3. 海洋汚染防止法 4. 下水道法 5. 廃棄物の処理および清掃に関する法律		
17. その他	文献：1. 許容濃度の勧告(1993) 日本産業衛生学会 産業医学 35巻 2. 化審法 既存化学物質 ハンドブック第4版 化学工業日報社 3. Thresholds limit value for chemical substances and physical agents and biological exposure indices ACGIH(1991-1992) 4. IARC monographs on the evaluation of the calcinogenic risk of chemicals to humans vol.33 5. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会）		

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 TEL：03-5718-7425

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者には、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されますようお願い申し上げます。本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。